



明るい港

新年あけましておめでとーございます

諸官庁ならびに諸団体より新年のご挨拶をお寄せいただきました。



公益社団法人
横浜港防犯協力会
会長
藤木幸太

明けましておめでとうございます。

横浜水上警察署署員の皆様、横浜港防犯協力会会員の皆様、新春を新たな気持ちで期待をこめてお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様方には平素より当防犯協力会の運営に多大なご協力を賜りまして、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ウクライナ・中東情勢の影響を受け、世界経済は安定を欠き、企業活動や市民生活にも影響が及ぶ不透明な一年でもありました。又、国内においても継続的な物価上昇が日々の生活に大きな影響を与えた一年でもありました。

このような中、昨年の横浜港はクルーズ船の寄港が回復し、国内外からの観光客で賑わいを取り戻しました。みなとみらい地区では第9回アフリカ開発会議や文化イベントが相次いで開催され、横浜が再び世界に開かれた姿を示しました。こうした時代だからこそ港の果たす役割はますます重要になります。人・モノ・情報

が行きかうみなとは経済活動の玄関口であると同時に、地域の暮らしを支える生命線でもあります。

地域の発展と経済成長の基盤は「安全・安心」です。犯罪のない社会こそ、人々が力を発揮し笑顔で暮らせる土壌となります。神奈川県下では特殊詐欺やサイバー犯罪が依然として続いています。大学や企業を狙ったランサムウェア攻撃やSNS型投資・ロマンス詐欺など、社会全体に影響を及ぼす事案も引き続き増加傾向にあり、被害件数・被害額ともに高水準で推移しています。こうした犯罪に立ち向かうには、行政・警察・地域・企業・市民の協働が不可欠となります。

横浜水上警察署管内では、防犯ボランティアによる海上パトロールや横浜港周辺での防犯啓発活動、観光・来訪者への広報、夏の花火大会時のキャンペーンなど会員や事業者の協力により安全を守る取り組みが積み重ねられています。多くのボランティアの方々協力し合い横浜港の力と絆の深さを実感した活動こそ、横浜の誇る市民の力の象徴であると実感しております。

本年もまた変わらぬ志を胸に、地域社会の安全で安心なまちづくりに向けて会員・関係各位の皆様と共に関心を切り開く一年となりますようご理解とご協力をお願い申し上げます。

末筆となりますが皆様のご健勝とご多幸をご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



横浜水上警察署長
渡邊知宏

明けましておめでとうございます。横浜港防犯協力会の皆様方におかれましては、平素より各種防犯活動はじめ警察行政の各般にわたり、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の横浜水上署の治安情勢を振り返りますと、治安のパロメーターと言われる刑法犯認知件数は、一昨年と比べ、減少傾向で推移しました。

また、管内では、大型クルーズ船「飛鳥Ⅲ」の就航、山下ふ頭での大規模コンサート、第9回アフリカ開発会議など、様々なイベントが開催されましたが、大きな混乱もなく、警備・交通対策を完遂することができました。

これもひとえに、皆様の警察活動へのご理解、ご支援、ご協力の賜物であり、重ねて御礼申し上げます。

一方で、神奈川県内全体に目を向けますと、一昨年から刑法犯認知件数が増加傾向に転じており、社会問題となっている特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺をはじめ、自動車盗などの犯罪

が増加するなど、厳しい治安情勢となっています。特に、特殊詐欺の被害については、年間被害総額が100億円を超えるなど、深刻な状況にあります。

こうした情勢を踏まえ、県警察では、令和8年の運営指針を「安全で安心して暮らせる地域社会の実現」とし、サブタイトルとして「県民に寄り添い社会の変化に適応する組織一丸となった警察活動の転換」を掲げ、特殊詐欺対策をはじめ、各種治安対策を推進することとしています。

横浜水上警察署といたしましても、この運営指針のもと、挙署一体となって、管内治安の維持・向上のため、検挙・抑止の両面で各種治安対策を推し進めてまいります。

特に、特殊詐欺については、当署の特性を活かし、皆様のご助力をいただきながら、横浜港周辺を訪れる観光客の方々などに、特殊詐欺への注意喚起などを行っていきたく考えております。本年も引き続き、安全で安心して暮らせる地域社会の実現のための防犯活動へのご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、横浜港防犯協力会の益々のご発展、会員の皆様とご家族のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。



横浜市中区長
永井由香

新年明けましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

藤木会長をはじめ、会員の皆様方には、日頃から市政・区政の推進に多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴会の活動地区である臨海部は、横浜開港以来「日本の海の玄関口」として、横浜そして日本発展の原動力となってきた港です。また、赤レンガ倉庫や大さん橋、横浜ハンマーヘッド等の臨港エリアは全国から多くの方が訪れる人気の観光スポットですが、一方で防犯対策上は非常に難しい地域となっています。

昨年は、振り込め詐欺や還付金詐欺などを始めとする従来からある詐欺に加え、SNS型の投資詐欺やロマンス詐欺、警察官を装った詐欺など、特殊詐欺の手口が多様化しており、防犯への意識がさらに高まる一年でした。

このような状況のなか、毎月の「防犯の日」を中心とした広報パトロールや防犯キャンペーン、訓練、高齢者及び子ども向け防犯教室など、様々な活動に長年にわたり御尽力いただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

区役所としましても、4警察署、防犯協会・防犯協力会と、犯罪に関する情報を共有するほか、引き続き犯罪の発生状況等を「安全・安心メール」として送信し、注意喚起を行ってまいります。あわせて、広報よこはまや横浜市公式LINEなどでも防犯情報の発信に一層取り組んでまいります。

昨年11月には、4警察署・防犯協会・防犯協力会の皆様にご協力いただき、中区民祭り「ハローよこはま2025」を盛大に実施することができました。来場者への啓発グッズ配布など、防犯対策を紹介いただきましたことに感謝申し上げます。

中区は、令和9年に「区制100周年」を迎え、同

年には「GREEN×EXPO 2027」が横浜で開催されます。この大きな節目に向けて、中区では機運醸成に取り組むとともに、「誰もが安心と活力を実感するまち中区～住んでよし、働いてよし、訪れてよし～」という中区の基本目標の実現に向けて歩みを進めてまいります。住みよい街と明るい港を守るため、横浜港防犯協力会、横浜水上警察署、関係団体・企業の皆様とともに引き続き防犯活動に取り組んでまいり所存ですので、本年もどうぞよろしく願いいたします。

横浜港防犯協力会の益々の御発展と、会員の皆様のご健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。



横浜市港湾局長
新保康裕

令和8年の年頭にあたり、謹んで新年の御挨拶申し上げます。

横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、平素より横浜港の振興や発展に御協力賜りますとともに、防犯キャンペーンや毎月「防犯の日」を中心に実施されている巡回広報など、横浜港及びその周辺地域の犯罪のない「明るい港」づくりに日頃より御尽力いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

横浜港は、開港以来、我が国の産業と市民生活を支える国際貿易港として発展してきました。これまでの実績と経験を生かし、本年も「国際競争力のある港」「観光と賑わいの港」「安全・安心で環境にやさしい港」の三つを柱に、横浜港の更なる発展に尽力していきます。

「国際競争力のある港」では、世界の主流となりつ

つある超大型コンテナ船に対応するため、大水深岸壁を擁する新本牧ふ頭や本牧ふ頭の再編を着実に進めていきます。特に、本牧D5ターミナルは、令和7年9月より一部供用を開始し、超大型船の円滑な受入れが実現するなど、港湾機能の更なる充実に向けた重要な一歩を踏み出しました。

「観光と賑わいの港」では、10月に臨港パークにカフェや野外レクリエーション支援機能を備えた新複合施設「横浜ティンバーワフ」が開業し、新たなにぎわい拠点として期待されています。また、7月には「飛鳥Ⅲ」がデビューし、横浜港発着のクルーズ船の増加により、クルーズへの関心が高まり、市民の皆様が横浜港への愛着が一層深まることを期待しています。クルーズのお客様には、横浜市内を回遊していただけるよう、横浜ならではの魅力や体験を積極的に発信し、観光振興につなげていきます。

「安全・安心で環境にやさしい港」では、2050

年の脱炭素社会の実現に向け、令和6年度に策定した「横浜港湾脱炭素化推進計画」に基づき、温室効果ガス排出量削減に向けた様々な取組を推進しています。今後も、港湾の脱炭素化を先導し、国際競争力を強化していくため、国や事業者の皆様と連携し、カーボンニュートラルポートの形成を力強く推進していきます。

横浜港は市民の社会生活を支える重要な社会インフラであり、今後もその役割を果たしていきます。多くの関係機関の皆様と連携し、横浜経済の活性化と市民生活の向上に資する総合港湾づくりに取り組んでまいりますので、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、横浜港防犯協力会の更なる御発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げて、新年の御挨拶とさせていただきます。



横浜税関監視部長
鳥居 健

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
公益社団法人横浜港防犯協力会会員の皆様には、平素より横浜港における税関の取締・検査にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、我々税関では、与えられた使命の一つである「安全・安心な社会の実現」のために、不正薬物・銃砲等の社会悪物品、テロ関連物資、金地金などの水際での密輸阻止に向けて、24時間・365日、取締りに従事しております。
全国の税関が発見した不正薬物の押収量は、令和6年に2年連続で2トンを超え、令和7年は上半期だけで初めて2トンを超えるなど、非常に深刻な状況にあります。また、近年の金価格の高騰等の影響を受けて、消費税の

脱税を目的とした金密輸への対策についても喫緊の課題となっています。
このような不正薬物などの密輸状況に加えて、テロ対策の強化を図っていくことも重要となっています。昨年の大阪・関西万博や横浜市において開催された第9回アフリカ開発会議につきましては、皆様方のご協力もあり無事に閉幕したところです。来年には「2027国際園芸博覧会」が開催され、現在、その準備が着々と進められており、税関としてもテロの未然防止のため、取締関係機関との連携を密にし、テロ関連物資等の水際取締りに徹底して取り組んでいく所存です。
更には、横浜港への外航クルーズ船の入港やインバウンドへの対応もコロナ禍前の水準に戻り、旅客等の円滑

な通関と厳格な取締りを両立すべく、関係機関の皆様と連携・協力し対応してまいります。
我々税関がこれらの課題に対応していくためには、貴協会をはじめとする民間事業者の皆様のご理解とご協力が重要でございます。日頃横浜港でお仕事をされる中で、不審な人物、車両等を見かけたなど、どのような些細な情報でも結構ですので、お気付きの点がありましたら税関に通報していただければ幸いです。
結びに、公益社団法人横浜港防犯協力会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



横浜水上交通安全協会
会長
藤木 幸吉

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
また、公益社団法人横浜港防犯協力会の皆様方におかれましては、今年のお正月もご家族と共に、清々しい気持ちで楽しくお過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。
皆様方には平素より横浜港や地域で安全で安心して暮らせる街づくりのため「防犯活動」にご尽力をいただき、心より御礼申し上げます。
さて、2025年を振り返りますと、大阪・関西万博が開幕し、多くの来場者がありました。その一方、米不足を背景に、備蓄米の放出をめぐる混乱が「令和の米騒動」として注目され、6月から猛暑日が長期間続いて、事業者には熱中症対策が義務付けられました。
10月には、ノーベル賞において、日本から2名の研

究者が栄誉ある賞を受賞しました。そして、憲政史上初の女性総理が誕生しました。
世界情勢は、トランプ大統領が二度目の登板を果たして、アメリカの黄金期のスタートを宣言し、「米国第一主義」政策が、国際関係や世界景気に大きな影響を与えました。
私共横浜水上交通安全協会は、令和7年度の年間スローガン「安全は心と時間のゆとりから」に従い、横断歩道における歩行者優先の徹底、高齢者と子供の交通事故防止、飲酒運転の根絶等の広報啓発活動に取り組んで参りましたが、県内では交通事故の発生状況が増加傾向にあり、二輪車乗車中、歩行中に亡くなる方が多く、高齢者や20歳代の方の事故が増えました。
今後も、特に高齢化の進展等を見ると、その発生リスクは増加する事が予想され、高齢者の交通事故防止が重要な課題となります。

今年4月1日付で、道路交通法の一部改正が有り自転車等に対する交通反則通告制度「青切符」による取り締まりを行う反則金制度が適用になります。
当協会では引き続き、警察や関係機関・団体との連携により、地域の特性を踏まえた取組を強化しながら、安心・安全な街づくりに向けて、街頭キャンペーンや広報車によるパトロールを積極的に進めて参る所存でございます。
皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びになりますが、横浜港防犯協力会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



横浜海上保安部長
松川 勝紀

新年あけましておめでとうございます。
横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、皆様には平素から当部が実施する海上保安業務に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げますとともに、日頃の防犯活動を通じて地域の安全・安心の実現に多大な貢献をされていることに敬意を表する次第です。
昨年、横浜港においては、新型コロナウイルス感染拡大の収束以後、インバウンドの復活により、多数の大型クルーズ船が入港し、各種イベントも多数開催されたほか、7月には「飛鳥Ⅲ」が就航し、大さん橋国際ターミナルで行われた就航セレモニーには多くの方が詰めかけ、

華やかな式典となりました。また、「国際コンテナ戦略港湾」として、船舶の大型化に対応するため、新本牧ふ頭の整備等の海上工事が進められているとともに、カーボンニュートラルポート実現に向けて、水素等の次世代エネルギーの利活用への取り組みも進められているところであります。
当部におきまして、横浜海上防災基地や巡視船の一般公開のほか、「横浜港ポート天国ディンギーヨットレース」等の各種行事の実施を通じ、一般の方々に海上防犯を含め海上保安業務のより一層の理解を深めていただく機会を多く持つことができたほか、昨年8月に開催された「第9回アフリカ開発会議(TICAD9)」における海上警備、11月に実施した横浜港水際危機管理

対応合同訓練等により、水際対策を的確に推進することができました。
今年も、地域の皆様が安全に海を利用し、海の恩恵を享受できるよう、関係機関・関係団体との一層の連携強化を図り、船舶交通の安全はもとより、テロ対策の推進、薬物・銃器の密輸阻止等の水際対策の徹底など、海の安全・安心のため全力を尽くして参る所存でございますので、今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、横浜港防犯協力会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人
横浜港ハーバーリゾート協会
会長
藤木 幸夫

港湾人の皆様、新年明けましておめでとうございます。
昨年末、坂口志文氏(生理学・医学賞)、北川進氏(化学賞)のお二人がノーベル賞を受賞され、誠に喜ばしい事でした。我が国の科学技術力は国際的にもまだトップクラスに位置していることが証明されました。教育レベルの維持は国にとって最も重要なことです。いかに素晴らしい事が改めて感慨深いものがあります。日本が良くなる根幹は科学技術の発展です。今後是非期待して行きたいと思っております。
少子高齢化、貧困と格差増大、気候変動・酷暑化、地域間格差、外国人流入増、人手と人材不足、社会保障費の増大など混迷が深刻になりつつある現在、これら多くの課題と向き合って解決する必要に迫られています。できる対策を先ずやってみよう。これらの深刻な課題の影響を少なくすることが安全な社会を作る基礎になります。
弊協会は、主な取り組みとして、山下ふ頭の将来にふさわしい再開発とは何か、山下ふ頭の社会における認知

度のアップを目標に様々なイベントを実施しています。これまでの実証では、先ほど前段で列記した課題を鑑みても、教育に資することを継続的に取り入れた開発が良いのではないか、との示唆と受け止めています。その山下ふ頭の本格的な再開発事業には、まだまだ時間がかかると思っておりますし、時間をかけても、よい方向性を見いだされればと思っております。横浜市民の総意も必要です。
米国における2期目のトランプ大統領の驚く施策として、関税の大幅な引き上げ、米国への巨大な投資要請があり、日本に多大な影響を与え始めています。他方、地球的には気候変動の激化、資源の枯渇化、貧富格差の拡大、終わらないウクライナ戦争、その他地域での紛争・戦争の増大、国連の弱体化が進み、人類は大きな課題を抱え、解決には一刻の猶予もなくなっています。これらの大問題は人類が一丸となって解決に取り組むことが必須ですが、米国トランプ大統領の方向性は「米国だけ良ければ良い」という極端に利己的なスタンスです。これでは問題解決には程遠くなるばかりです。世界がこのよ

うな不安定な事態に陥っている状況であるからこそ横浜とりわけ横浜港域だけは我々横浜港関係者自身が一丸となって、しっかりと取組み、守って行かねばならないと思っております。
2021年から、弊協会も横浜港防犯協力会の新メンバーとして参画させて頂いてから5年目となりました。本年も山下ふ頭では多くの大型イベントを実施して参ります。これらイベントが無事に終わるように、良い結果を得られるように本協会の皆さんと一緒に進めるようにして行きたいと思っております。また、普段から横浜港の防犯、安全・安心の普及に努めてまいります。
今後も防犯協力会の一員として波止場の本領を發揮して横浜港に侵入しようとする悪質な波の流入を防いで行きたいと思っております。
新年のおめでたい日に際し、皆様のご多幸とご健勝を祈念致します。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

公益社団法人 横浜港防犯協力会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|-------|-------|
| 個人会員
(賛助) | 藤木 幸夫 | 田中 由香 | 花島 孝明 | 藤木 幸太 | 原龍次郎 | 酒井 裕介 | 笹田 照近 | 吉岡 啓二 | 藤木 幸三 | 石川 敬一郎 | 松本 真仁 | 奥主 真 | 野口 順也 | 阿部 順也 | 山本 立博 | 青木 立博 | 田留 立博 | 鈴木 隆之 | 藤木 幸夫 | 渡邊 知香 | 永井 由香 | 常盤 勝彦 | 阿部 康裕 | 藤木 幸太 | 平田 博志 | 佐々木 隆晴 | 奥主 真 | 青木 立 | 齊藤 雅彦 | 小林 義孝 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|-------|-------|

諸官庁ならびに諸団体より寄せられた新年の挨拶掲載は紙面の都合上順不同となり、ご承知をさせていただきます。
(編集部)

(順不同・敬称略)